

## 名古屋市デジタル学習基盤整備計画（案）について市民の皆さまのご意見を募集します

### ○ 計画（案）の閲覧場所

市民情報センター（市役所西庁舎1階）、各区役所情報コーナー・支所で閲覧できます。

また、名古屋市公式ウェブサイト（<https://www.city.nagoya.jp/>）からダウンロードしていただけます。

（トップページ>市政情報>パブリックコメント>意見募集中の計画等）

### ○ ご意見の募集期間

令和7年1月23日（木）～令和7年2月21日（金）【必着】

### ○ ご意見をいただく方法

『ご意見シート』（任意様式可）に、意見・住所・氏名をご記入のうえ、下記の宛先まで電子メール（当日受信日時記録有効）にてご提出ください。

また、郵便（令和7年2月21日必着）・ファックス（当日受信日時記録有効）・直接持参（下記の対応時間内）のいずれかの方法でもご提出いただけます（任意の様式でもご提出いただけますが、名古屋市デジタル学習基盤整備計画（案）に対する意見であること、住所、氏名を明記してください）。

※ 電話またはお越しいただいての、口頭でのご意見はお受けできませんのでご了承ください。

※ 皆さまからのご意見に対しては個別に回答はいたしませんのでご了承ください。

#### 個人情報の取扱いについて

- 1 個人情報の取扱いについては十分注意し、意見公表の際は個人情報が特定できるような内容は掲載しません。
- 2 住所、氏名、電子メールアドレスなどについて、名古屋市個人情報保護条例に基づき、他の目的に利用・提供しないとともに適正に管理します。

### ○ 提出・問い合わせ先

名古屋市教育委員会事務局教育支援部学校DX推進課

- ・住所 〒460-8508  
名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
- ・電子メール [a4676@kyoiku.city.nagoya.lg.jp](mailto:a4676@kyoiku.city.nagoya.lg.jp)（当日受信日時記録有効）
- ・ファックス 052-972-4686（当日受信日時記録有効）
- ・電話 052-972-4676
- ・対応時間 月曜日～金曜日（祝日を除く）  
午前8時45分～正午／午後1時00分～5時30分

## 目 次

	頁
1 計画策定の考え方 . . . . .	1
2 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を 目指す学びの姿 . . . . .	1
3 ICT環境に係る整備計画 . . . . .	2
4 端末の利活用計画 . . . . .	3
5 校務DX計画 . . . . .	4

## 1 計画策定の考え方

### (1) 計画策定の趣旨

学習者用1人1台端末等を令和8年度に更新するに当たり、令和6年4月に文部科学省より示された「公立学校情報機器整備事業に係る各種計画の策定要領」に基づき、定めるもの

### (2) 計画期間

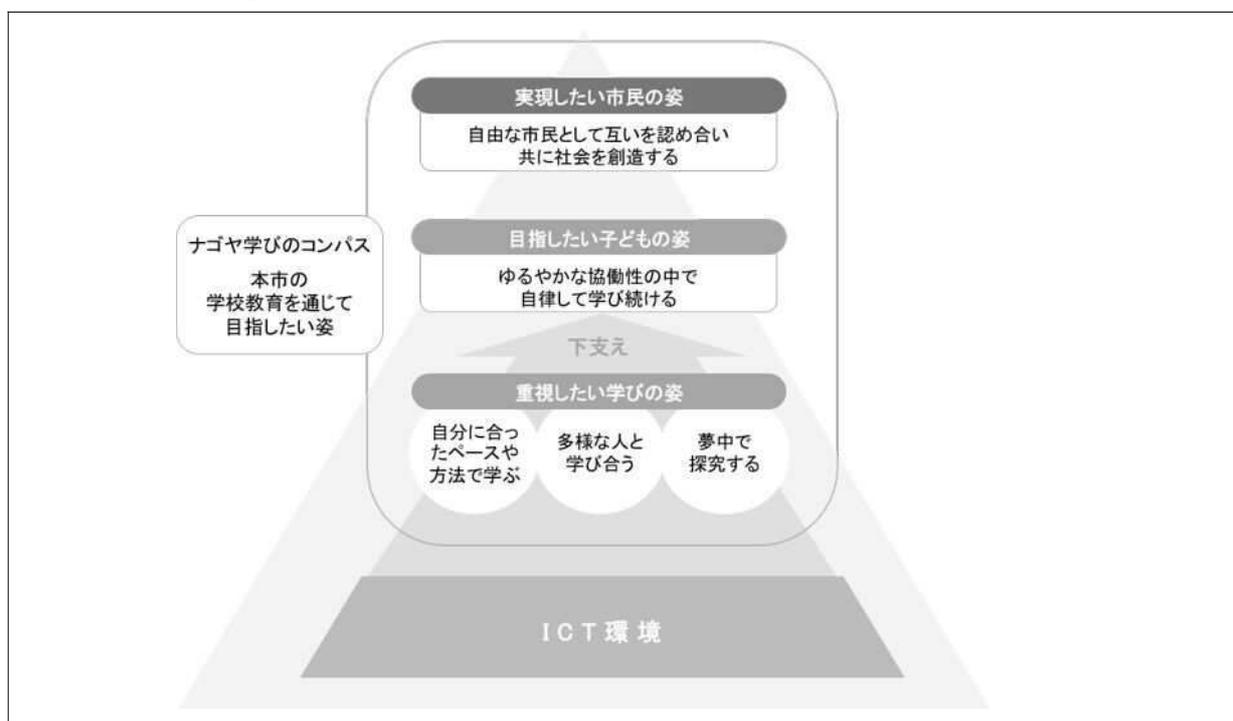
令和7年度から令和11年度までの5年間

### (3) 計画の体系

「1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿」を示すとともに、GIGA第1期の課題等を踏まえ「ICT環境に係る整備計画」、「端末の利活用計画」及び「校務DX計画」を登載

## 2 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

ICT環境が、「ナゴヤ学びのコンパス」に掲げる三つの重視したい学びの姿「自分に合ったペースや方法で学ぶ」「多様な人と学び合う」「夢中で探究する」の実現を下支えし、子どもがゆるやかな協働性の中で自律して学び続けることができる姿を目指す。



### 3 ICT 環境に係る整備計画

#### (1) 整備内容

区 分		内 容
端末	共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行の端末に関する課題、学校現場や有識者の意見等を踏まえ選定</li> <li>・ 端末故障率の低減を図るため、堅牢性について考慮</li> <li>・ 令和 8 年度に予備機を 10.7% 分整備するとともに、その後の状況に応じ、追加整備を検討</li> </ul>
	小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ iPad を導入</li> <li>・ 1 年生から端末を積極的に活用し、学習の記録やまとめを行うことができる必要があり、直感的操作やカメラ性能が優れている他、端末本体が最軽量であるなどの理由から選定</li> </ul>
	中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Google Chromebook を導入</li> <li>・ 小学校と比べて学習内容や取り扱う情報が格段に増えることから、多量の情報を迅速に整理及び処理する必要があり、軽快な動作に加え、マルチウィンドウ機能があることや画面及びキーボードのサイズが大きい端末があることなどの理由から選定</li> </ul>
	特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ iPad を導入</li> <li>・ アクセシビリティや iPadOS のみで稼働する特別支援に有効なソフトウェアがあることなどの理由から選定</li> </ul>
ソフトウェア		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習 e ポータルと連携を前提にしたソフトウェアを導入し、ダッシュボード機能や SSO（シングルサインオン）機能を活用</li> <li>・ 発達段階に応じたソフトウェアを選定</li> </ul>
ネットワーク		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文部科学省より示された「学校のネットワークの改善について」に基づき、帯域確保</li> <li>・ 令和 6 年度に実施しているネットワークアセスメントの結果を踏まえて改善</li> </ul>
クラウド化		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に記載の方針に基づき、クラウド環境へ移行</li> </ul>
大型提示装置		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 更新に当たっては各学校における教室の特性を考慮したうえで、原則 60 インチ以上の投影サイズかつ原則 5 分未満で使用可能なモニタ又はプロジェクタを整備</li> </ul>

(2) スケジュール

令和8年度に端末等を更新するため、令和7年度に調達を実施予定

4 端末の利活用計画

(1) 端末の積極的活用

- ICT 活用指導力向上のための教員研修の実施
- 情報通信技術支援員（ICT 支援員）の配置
- 教育委員会による支援の実施
- 端末を用いた家庭学習の促進
- デジタル教科書の活用促進

(2) 個別最適な学び・協働的な学びの充実

子どもが、自分自身の興味・関心等に応じてやりたいことを見付け、学ぶペースや方法、内容などを自己選択、自己決定しながら見通しをもって学び続けることができるようにするための活用

- 自分に合ったペースや方法で学ぶことができるようにするための活用
- 多様な人と学び合うことができるようにするための活用
- 夢中で探究することができるようにするための活用

(3) 学びの保障

すべての子どもが公正で公平な教育を受けることができ、最善の学習結果を達成できるようにするための活用

- 子どもの教育相談の実施
- 不登校の子どもの授業への参加・視聴機会の提供
- 障害のある子どもや病気療養児等、特別な支援を要する子どもの実態等に  
応じた支援
- 日本語指導が必要な子どもに対する学習活動等の支援

## 5 校務DX計画

### (1) 次世代の校務DX環境の整備

クラウドを活用した校務支援システムや校務系と学習系が一台化された教員用端末、ロケーションフリーの校務環境といった次世代の校務DX環境を令和7年度に整備

### (2) 校務DXチェックリストへの対応

#### ア 不合理な手入力作業の一掃

○就学時における名簿作成の際に、子どもの名前をシステムへ手入力するといった不合理な作業は廃止済み

#### イ クラウド環境を活用した校務DXの徹底

○十分に活用されていない学校に対してフォローアップを実施

○より効果の高いサービスへの切り替えを検討

#### ウ FAX・押印の原則廃止

○教育委員会と学校間のFAX利用は令和8年度に原則廃止

○押印は既に原則廃止と整理済みであるため、慣行上押印利用が残っている等の理由で原則廃止されていない学校に対しては、押印の見直しの周知徹底を図る

